

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和4年2月1日 第12号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○一番寒い季節を迎えます ～お身体を大切に、ご自愛ください～

今月4日は立春で暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きます。通勤途中の車中から見える浅間山はすっぽりと雪を被り、妙義山もうっすらと雪化粧をしています。一段と寒さが厳しい季節になりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

群馬県は現在、蔓延防止等重点措置が敷かれており、新型コロナの感染拡大はとどまる所を知らない状況が続いています。しかし、学校では、基本的な感染対策をしっかりととりつつ、子どもたちの学びを止めないために、今できることをできる限り取り組んでいきたいと考えております。保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

○寅年を迎えて ～生き物と共存できる未来のために～

1月の全校朝礼は、今年の干支の寅（トラ）にちなんで、「生き物を守る」をテーマに話しました。

トラは絶滅危惧種に指定されており、生態系のピラミッドによると、トラがいなくなることで草食動物が増えすぎて農作物を荒らす被害が多くなること。また、トラがいなくなる原因は、密猟や森林破壊、ゴミの増加の影響などがあり、さらには地球温暖化による異常気象で、すみかやエサを失ってしまうことがあります。

それは、海中の動物にもいえることで、SDG'sの目標「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」にあるように、世界中の人達が考えていかなければならない課題です。

そこで私たちができることとして、動植物を大切にすること、水や電気などの資源を無駄にしないこと、ゴミを減らすことなどの身近な取組を継続すること、そして、今、福島小が行っている資源回収（ペットボトルキャップやアルミ缶）も生き物を守ることに繋がるといえます。



○書き初め大会 ～年の初めに精神を集中しました～

書き初めは、新年を迎え気持ちを新たに、文字の上達を願って書き記す、古くから伝わる伝統行事です。子どもたちは令和4年の初めに、心を落ち着かせて書き初めに臨みました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で行いました。一文字、一面に集中して最高の1枚を完成させるために、丁寧に書いて仕上げていました。

